

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：村山 一弥

事業名	一般国道8号 糸魚川東バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北陸地方整備局						
起終点	自：新潟県糸魚川市間脇 至：新潟県糸魚川市押上	延長	6.9km								
事業概要	一般国道8号糸魚川東バイパスは、交通渋滞の解消、沿道環境の改善などを目的とした延長6.9kmのバイパス事業である。										
H元年度事業化	H2年度都市計画決定	H4年度用地着手	H10年度工事着手								
全体事業費	約450億円	事業進捗率	67%	供用済延長	3.1km(暫定2車線)						
計画交通量	9,300～11,400台/日										
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.01 (残事業) 1.5	総費用 (残事業)/(事業全体) 128/578億円 事業費：112/541億円 維持管理費：17/37億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 192/584億円 走行時間短縮便益：156/507億円 走行経費減少便益：31/67億円 交通事故減少便益：5.2/9.9億円	基準年 平成29年							
感度分析の結果	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">(事業全体) 交通量：B/C= 0.9～1.1 (交通量±10%)</td> <td style="width: 50%;">(残事業) 交通量：B/C= 1.4～1.6 (交通量±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業費：B/C= 0.99～1.03 (事業費±10%)</td> <td>事業費：B/C= 1.4～1.6 (事業費±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業期間：B/C= 1.00～1.03 (事業期間±20%)</td> <td>事業期間：B/C= 1.4～1.6 (事業期間±20%)</td> </tr> </table>					(事業全体) 交通量：B/C= 0.9～1.1 (交通量±10%)	(残事業) 交通量：B/C= 1.4～1.6 (交通量±10%)	事業費：B/C= 0.99～1.03 (事業費±10%)	事業費：B/C= 1.4～1.6 (事業費±10%)	事業期間：B/C= 1.00～1.03 (事業期間±20%)	事業期間：B/C= 1.4～1.6 (事業期間±20%)
(事業全体) 交通量：B/C= 0.9～1.1 (交通量±10%)	(残事業) 交通量：B/C= 1.4～1.6 (交通量±10%)										
事業費：B/C= 0.99～1.03 (事業費±10%)	事業費：B/C= 1.4～1.6 (事業費±10%)										
事業期間：B/C= 1.00～1.03 (事業期間±20%)	事業期間：B/C= 1.4～1.6 (事業期間±20%)										
事業の効果等 定性的な効果	<p>①災害に強い道路ネットワークの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道8号の幹線道路としての信頼性が向上し、当該地域において災害に強い道路ネットワークの形成が期待される。 <p>②夜間交通騒音の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道部の交通量が減少するため、夜間の交通騒音が低減し、沿道環境の改善が期待される。 <p>③救急医療機関へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺地域から糸魚川総合病院へのアクセス性が向上することで、迅速な救命救急活動などを支援する。 										
関係する地方公共団体等の意見	<p>地域から頂いた主な意見等：</p> <p>糸魚川市や糸魚川国道8号整備促進期成同盟会から本道路の整備促進についての要望を頂いている。</p> <p>知事の意見：</p> <p>県民の命と暮らしを守り、豊かな新潟県を創るため、事業の継続を望みます。</p>										
事業評価監視委員会の意見	<p>審議の結果、再評価及び対応方針（原案）のとおり事業継続することが妥当。</p>										
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>前回再評価以降、大きな社会経済情勢などの変化はない。</p>										
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>事業の進捗状況：用地進捗率97%、事業進捗率67%（平成29年度末予定）</p> <p>残事業の内容：用地取得、道路設計、改良工事</p>										
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>・糸魚川市間脇～糸魚川市梶屋敷間の道路設計を推進し、早期2車線供用を目指して整備を進める。</p>										

施設の構造や工法の変更等

- ・建設発生土の有効利用や新技術の積極的な活用等により、コスト縮減を図る。

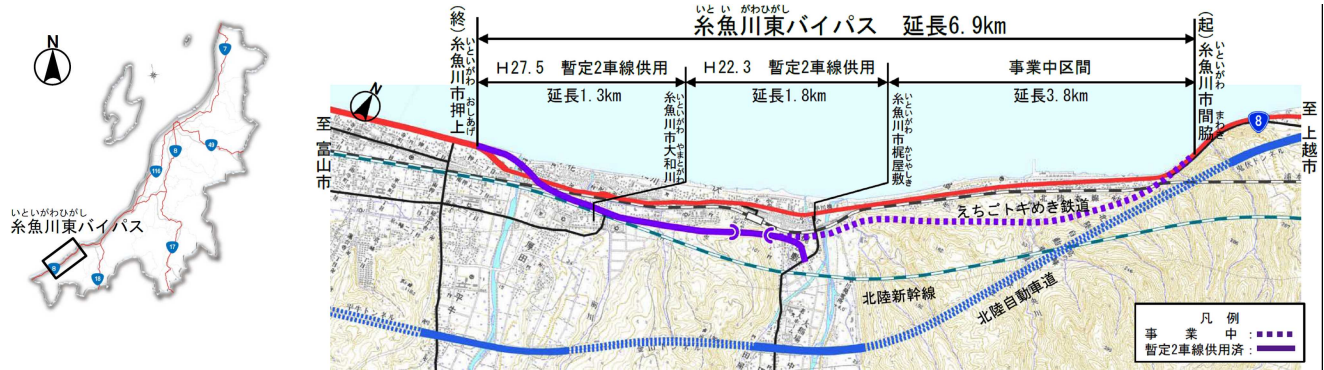
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

当該事業は、現時点においても、その必要性、重要性は変わっておらず、事業進捗の見込みからも、引き続き事業を継続することが妥当であるとする。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。